

大学図書館問題研究会 京都

京都市左京区北白川追分町 京都大学数理解析研究所図書室

(提筆宛付)

TEL 075-753-7223

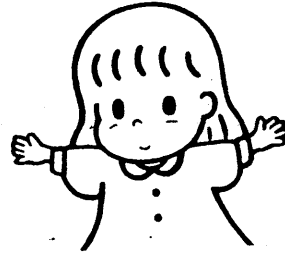
新米図書館員と新入生の

図書館オリエンテーション

京都橘女子大学図書館

若林千奈美

図書館で働くようになって丸1年が過ぎました。最近やっと図書館のお姉さんぶりが板につくようになったと、勝手に自負しています。図書館の中では主に閲覧を担当していますが、小さくて人手の少ない職場

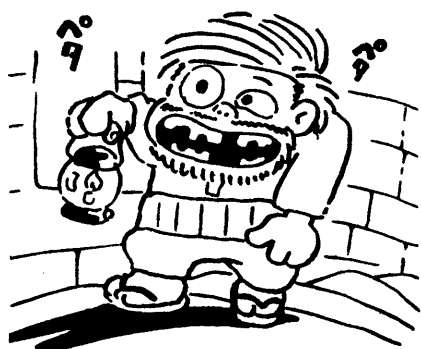


ですので、いろいろな仕事をこなします。返本作業で館内を歩き回ると、興味をそそられる本に出会います。また、利用者が貸出や返却に来ると、こんな本もあるんだなあと思うこともあります。学生時代から数えて本学の図書館を利用するのは6年目なのに、絶えずおもしろそうな本に出会い、図書館に対する興味は増すばかりです。(私は、京都橘女子大学で4年間の学生生活を送りました。)学生の皆さんにも、図書館っておもしろいところなんだなあと感じてもらいたい、そう願って働いています。

さて、本学の図書館では、「新入生図書館オリエンテーション」を毎年行っています。英語英文学科、国文学科、歴史学科の3つの学科に分け、さらに各クラスごとに分けます。1度に3つの学科でオリエンテーションできませんので、図書館員は同じことを3回こなして、すべての新入生にオリエンテーションをしています。新入生約35人から45人につき、図書館員一人があたります。オリエンテーションの中身は、図書館の利用案内のビデオ上映と館内1周

です。ビデオ上映ではAVホールとL1教室を使います。高校でこのような設備を利用することはほとんど無いのか、たいていの新生は興味深そうにしています。館内1周では高校までの図書室と違い建物の広さと本の多さに驚いているようです。

1989年4月、私は初めて本学の図書館に足を踏み入れました。まだ高校を卒業したてで、これから始まる大学生活に夢と希望を抱いているころでした。図書館のオリエンテーションはそのころからあり、私も新生としてそれを聞きました。利用案内のビデオは今でもとてもよく覚えています。泥棒さんがでてきて、図書館を案内してくれました。館内1周では、今は一緒に働いているK図書館員に

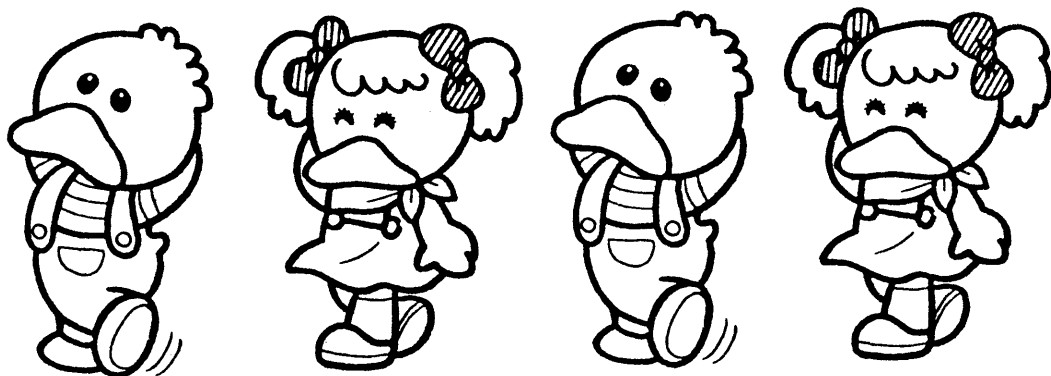


ついてまわりました。説明の最中に書架から本を取り出して見ていたので、返却台に戻す見本になってしまいました。それから4年間授業の合間のひまつぶしに図書館を利用することがあっても、調べ物に利用することは滅多にありませんでした。今から考えると図書館の利用法をよく知らなかったと思います。

1991年4月、図書館員として初めての「新生図書館オリエンテーション」がやってきました。4年間利用していた図書館とはいえ、どのように新生に図書館を説明すればいいのか、よくわからないまま、初日を迎えました。ビデオを流している間もドキドキしていました。館内1周のとき、声が後ろの人にも届くだろうか、新生は私の説明を聞いてくれるだろうか、などとずっと考えていました。ビデオが終わると館内1周です。新米図書館員の後ろに新生がゾロゾロと並んで歩きます。目録コーナーやカウンター、ロレンス文庫に女性学コーナー、一般書架やグループ学習室など、ひとつおり説明しながら進みます。不安でいっぱいの図書館員とこれからの大学生活に希望が满满の新生の取り合わせ、その姿はカルガモの親子に似ていたと私は思っています。不安で胸がドキドキしているうちに、1回目のオリエンテーションは終わりました。2回、3回とこなすうちに、私も落ち着いてきて、オリエンテーションもそつなくこなせるようになりました。

オリエンテーションが終わると、新入生が図書館を利用し始めます。貸出や返却に来る新入生が、オリエンテーションを受け持ったクラスの学生なら、とてもうれしくなります。もちろんオリエンテーションを受け持っていないクラスの新入生が利用するのうれしいのですが、オリエンテーションを受け持ったクラスの新入生が利用すると特にうれしく思います。私の説明をどのくらい聞いてくれたか、また説明からどのくらい図書館に興味を持ってくれたかを知る一つの目安になるからです。

1992年4月、私にとっては2年目の「新入生図書館オリエンテーション」がやってきました。2年目になってもあいかわらず、ドキドキして初回を迎えました。新入生を迎えるたびに私も初心に戻ります。図書館っておもしろいところなんだよと利用者の皆さんや、1度も図書館を利用したことが無い人々に伝えられたらいいなと、夢と希望に満ちあふれて私は図書館員として第1歩を踏み出しました。さあ、今年の新入生はどのくらい図書館を利用するのでしょうか？楽しみでもあり、不安でもあり、そんな図書館のお姉さんです。



第6回（5月）支部委員会記録

日時 1992年5月12日（火）18時30分—20時30分

場所 京都大学教育学部

出席（堤、竹本、竹村、大館、橋本、小林、西野）欠席（篠原、松原）

報告

1. 情勢 国立大学各図書館の完全週休2日制実施の対応状況等
2. 「京都の大学図書館」頒布状況 毎日新聞(5/6夕刊)に紹介
3. アンケートについて
4. 第3回全国委員会の報告 大会が8月22—24日に変更された
5. 入退会、転入転出について

議題

1. 現場実践作業グループの組織について
2. 支部報について 5月支部報の感想と6月号以後の編集
3. 組織課題について 基礎データの収集と会員名簿の修正 5月末

—— 第1回オープンカレッジが開かれます! ——

オープンカレッジ? (京都の大図研大学みたいなもんや)

日 時	1992年6月6日(土) 午後3時—6時
場 所	日販ビル(JRお茶の水駅前)
テーマ	マルチメディア
講 師	石塚英男(同一タイトルの本の著者)
受講料	未定